

青森県ソフトテニス連盟 選手育成長期計画について

— チャレンジ2026 普及強化プロジェクト —

日本ソフトテニス連盟競技者育成プログラムをベースにした選手育成計画を一貫した指導体制のもと長期間にわたり実施継続する。そのために必要な選手育成及び指導者養成関連のプロジェクトを以下に提案する。

1. 普及活動と連動したタレント発掘と選手育成強化

- ①ヨネックスソフトテニスキッズアカデミー
 - ・平成 25 年度～毎年開催（現在は岩木山振興公社主催への後援、開催運営協力）
 - ・ソフトテニスの楽しさを感じてもらう
 - ・保護者にも楽しさを体験してもらう「親子イベント」の実施
 - ・今後は普及イベントとして県内各地で年数回程度実施することが重要
 - ・県下選手権・ジュニアオープン大会等の空きコートを利用した普及イベント
- ②ショートテニス（スポンジボール）を使ったゲームベースによる選手育成とタレント発掘
 - ・ソフトテニスとテニス（硬式）の育成を連携し相互のレベルアップと情報交換を行う
 - ・体育館の特性をいかしたフットワークと戦術の習得
 - ・試合をサーキット方式で県内 3～5 回程度で開催（ランキングでチャンピオン決定）
 - ・スポンジボールを利用した練習方法の習得と普及
- ③日本ソフトテニス連盟競技者育成プログラム STEP-1 地域講習会
 - ・平成 27 年度より県内各地域で実施、多くの小中学生が受講
 - ・競技の特性を活かした、楽しみながら習得できる練習方法公開
 - ・プレーヤーズファーストによる指導アプローチの推進
 - ・指導者の資質向上とホームコーチとの連携情報交換
 - ・平成 28 年度から小中高生を対象に県内各地で年 10 回程度を予定
 - ・タレントの発掘と育成強化及び特化した選手へのアプローチ

2. 指導者の資質向上と最新の指導方法の習得

- ①指導者講習会の実施
 - ・令和 5 年度で第 19 回目の開催
 - ・トップレベルの指導者から最新の指導理論を習得する
 - ・全カテゴリー指導者のレベルアップと共通理解
 - ・最新で最適な指導方法の習得
 - ・強化練習時における各カテゴリーコーチの連携（方向性の統一）
- ②公認スポーツ指導員の養成とライセンス取得者向け集合研修会の実施
 - ・日本スポーツ協会公認指導員の養成と指導レベルの向上
 - ・他競技指導者との連携と情報交換
 - ・指導者の社会的な責任の明確化
 - ・資格所持していない指導者への対策検討
 - ・公認指導員資格更新にかかる継続専門研修会の独自開催